

表 3 人口増減の大きい市町

増加数(人)		増加率(%)		順位	減少数(人)		順位	減少率(%)			
増加した市町なし		増加した市町なし		1	静岡市	4,764	1	1	川根本町	3.74	3
				2	浜松市	3,931	2	2	松崎町	2.91	2
				3	沼津市	1,866	3	3	西伊豆町	2.51	1
				4	富士市	1,392	4	4	熱海市	2.20	12
				5	富士宮市	1,106	5	5	河津町	1.99	6
				6	焼津市	1,011	10	6	下田市	1.99	9
				7	御殿場市	977	18	7	南伊豆町	1.97	4
				8	磐田市	929	19	8	御前崎市	1.94	11
				9	島田市	805	15	9	森町	1.62	10
				10	裾野市	780	21	10	牧之原市	1.62	7
※当年増加市町数		0									
※前年増加市町数		1									

(2) 自然動態

長泉町1町のみ増加し、増加数は11人で、増加率は0.03%となっている。一方、34市町で減少となり、減少数は静岡市が4,136人で最も多く、減少率では川根本町が2.43%で最も高くなっている。

表 4 自然増減の大きい市町

順位	増加数(人)		順位	増加率(%)		順位	減少数(人)		順位	減少率(%)		
1	長泉町	11	1	長泉町	0.03	1	静岡市	4,136	1	川根本町	2.43	3
						2	浜松市	3,507	2	松崎町	2.10	6
						3	沼津市	1,555	3	熱海市	1.97	4
						4	富士市	1,141	4	東伊豆町	1.96	2
						5	伊東市	893	5	南伊豆町	1.93	5
						6	焼津市	782	7	西伊豆町	1.90	1
						7	磐田市	780	10	下田市	1.49	8
						8	富士宮市	751	8	河津町	1.46	7
						9	藤枝市	679	6	伊東市	1.36	10
						10	熱海市	675	9	伊豆市	1.35	9
※当年増加市町数		1										
※前年増加市町数		1										
(注) 内の数字は前年の順位												

(3) 社会動態

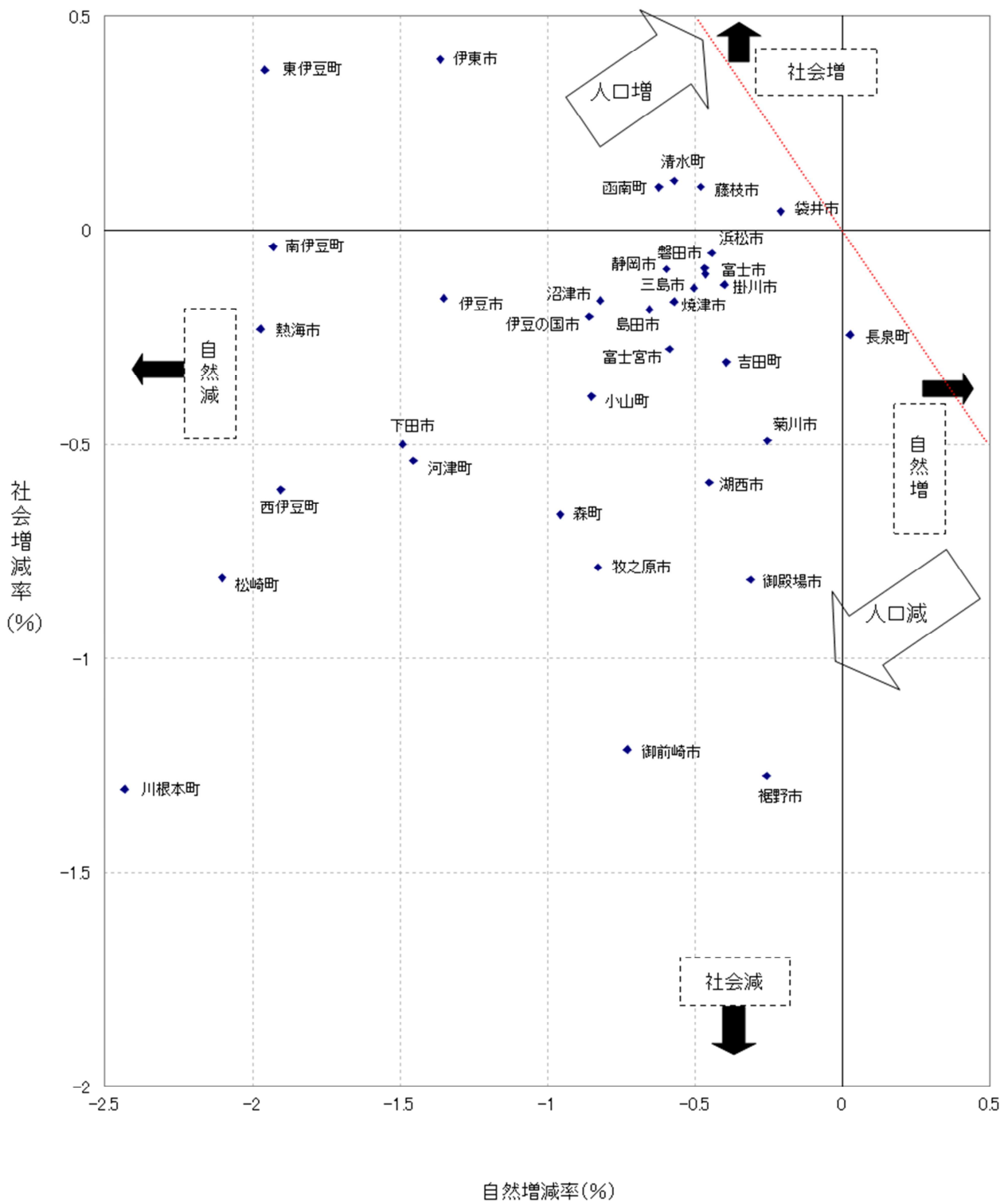
6市町で増加し、増加数は伊東市が261人で最も多く、増加率も伊東市が0.40%で最も高くなっている。一方、29市町で減少となり、減少数は御殿場市が707人で最も多く、減少率では川根本町が1.31%で最も高くなっている。

表 5 社会増減の大きい市町

順位	増加数(人)		順位	増加率(%)		順位	減少数(人)		順位	減少率(%)				
1	伊東市	261	-	伊東市	0.40	-	1	御殿場市	707	6	川根本町	1.31	9	
2	藤枝市	143	3	東伊豆町	0.37	3	2	裾野市	649	4	裾野市	1.27	11	
3	東伊豆町	43	11	清水町	0.12	-	3	静岡市	628	-	3	御前崎市	1.21	3
4	袋井市	39	-	藤枝市	0.10	5	4	浜松市	424	-	4	御殿場市	0.82	16
5	函南町	37	-	函南町	0.10	-	5	御前崎市	377	3	5	松崎町	0.81	1
5	清水町	37	-	袋井市	0.04	-	6	富士宮市	355	8	6	牧之原市	0.79	2
						7	牧之原市	342	1	7	森町	0.66	6	
						8	湖西市	341	7	8	西伊豆町	0.61	4	
						9	沼津市	311	-	9	湖西市	0.59	14	
						10	富士市	251	17	10	河津町	0.54	8	

(注) 内の数字は前年の順位(「-」は減から増、増から減へ変化)

図 8 自然・社会増減率による市町の分布



(4) 年齢構成

年齢3区別の構成割合をみると、年少人口割合が最も高いのは長泉町の15.71%、最も低いのは熱海市の5.75%で、その差は9.96ポイントとなっている。

生産年齢人口割合が最も高いのは長泉町の61.67%、最も低いのは西伊豆町の41.57%で、その差は20.10ポイントとなっている。

老年人口割合が最も高いのは西伊豆町の52.64%、最も低いのは長泉町の22.62%で、その差は30.02ポイントとなっている。

表 6 市町別年齢構成割合

(1) 上位10市町

(単位:%)

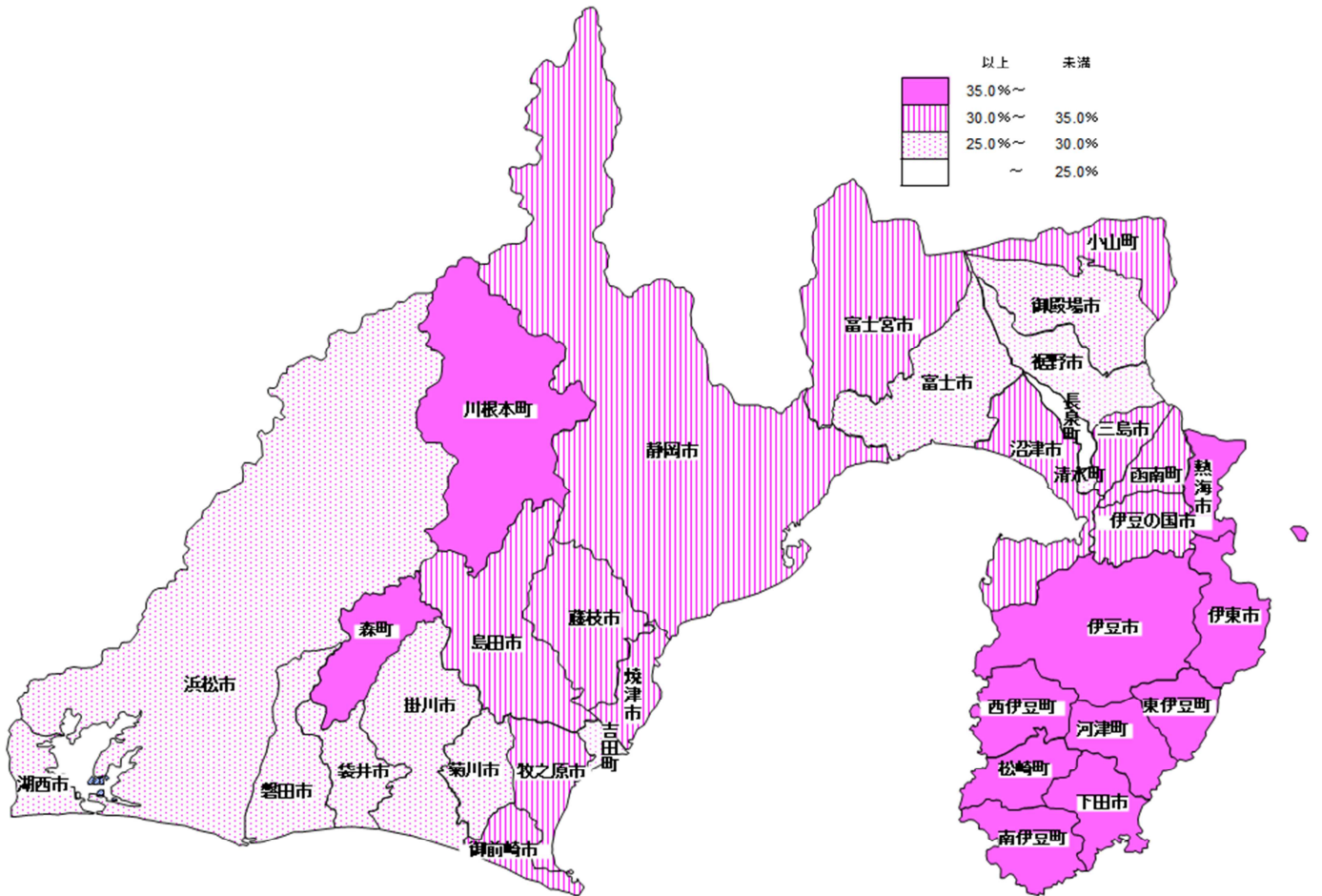
順位	年少人口		順位	生産年齢人口		順位	老年人口				
1	長泉町	15.71	1	1	長泉町	61.67	1	1	西伊豆町	52.64	1
2	袋井市	14.47	2	2	吉田町	61.05	2	2	川根本町	50.47	2
3	菊川市	13.91	3	3	清水町	60.96	4	3	松崎町	49.99	4
4	掛川市	13.57	4	4	御殿場市	60.90	3	4	南伊豆町	49.92	3
5	裾野市	13.14	5	5	袋井市	60.48	5	5	熱海市	49.06	5
6	磐田市	12.94	7	6	湖西市	59.74	6	6	東伊豆町	48.39	6
7	御殿場市	12.83	6	7	裾野市	58.98	7	7	伊東市	44.08	7
8	浜松市	12.81	8	8	富士市	58.83	8	8	伊豆市	43.38	9
9	藤枝市	12.77	9	9	浜松市	58.53	9	9	河津町	43.28	8
10	清水町	12.53	11	10	菊川市	58.49	10	10	下田市	42.82	10

(2) 下位10市町

(単位:%)

順位	年少人口		順位	生産年齢人口		順位	老年人口				
1	熱海市	5.75	1	1	西伊豆町	41.57	1	1	長泉町	22.62	1
2	西伊豆町	5.80	2	2	南伊豆町	42.02	2	2	袋井市	25.04	2
3	東伊豆町	6.34	4	3	松崎町	42.84	3	3	御殿場市	26.27	3
4	川根本町	6.46	3	4	川根本町	43.07	4	4	清水町	26.51	5
5	松崎町	7.17	5	5	熱海市	45.19	6	5	吉田町	26.52	4
6	南伊豆町	8.06	7	6	東伊豆町	45.27	5	6	菊川市	27.60	7
7	伊豆市	8.19	6	7	伊東市	47.69	8	7	裾野市	27.88	6
8	伊東市	8.23	9	8	河津町	47.78	7	8	湖西市	28.47	8
9	下田市	8.32	8	9	伊豆市	48.43	9	9	掛川市	28.62	9
10	河津町	8.94	10	10	下田市	48.86	10	10	浜松市	28.67	10

図 9 市町別老年人口割合（令和3年10月1日現在）



(5) 平均年齢

平均年齢が最も高いのは、西伊豆町の60.42歳、最も低いのは長泉町の44.09歳で、その差は16.33歳となっている。

表 7 市町別平均年齢

(単位:歳)

順位	高い市町	順位	低い市町
1	西伊豆町 60.42	2	1 長泉町 44.09
2	川根本町 60.21	1	2 袋井市 45.26
3	松崎町 59.52	3	3 御殿場市 46.36
4	熱海市 59.12	4	4 菊川市 46.41
5	南伊豆町 58.56	5	5 吉田町 46.67
6	東伊豆町 58.53	6	6 裾野市 46.95
7	伊東市 56.12	8	7 清水町 47.04
8	下田市 56.01	7	8 掛川市 47.40
9	伊豆市 55.91	9	9 浜松市 47.72
10	河津町 55.73	10	10 磐田市 47.73

(注) 内の数字は前年の順位

3 地域圏別年齢構成割合

令和3年10月1日現在の年齢3区分別の構成割合を地域圏別にみると、年少人口割合が最も高いのは「西部地域」の12.95%、最も低いのは「伊豆半島地域」の9.79%となっている。

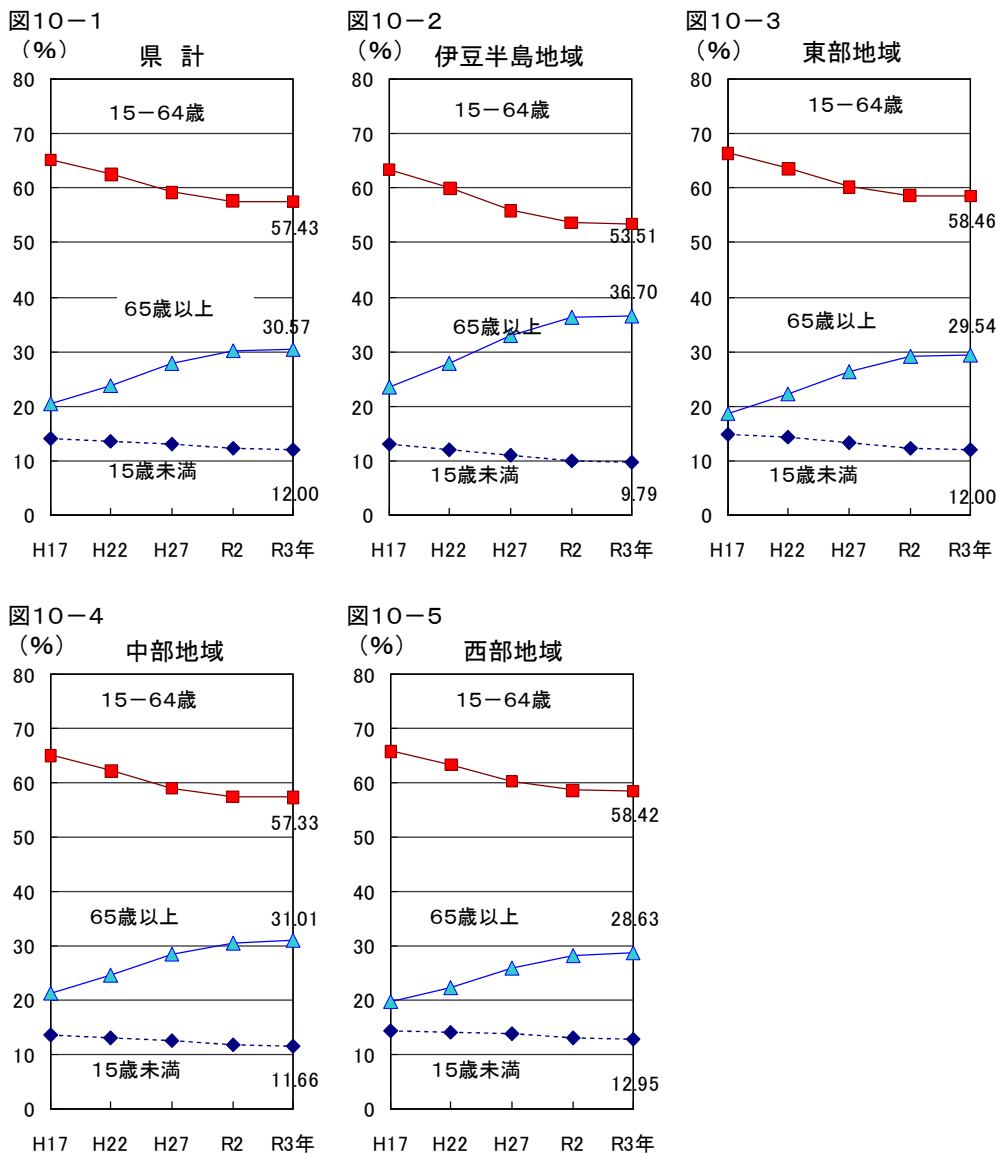
生産年齢人口割合が最も高いのは「東部地域」の58.46%、最も低いのは「伊豆半島地域」の53.51%となっている。

老年人口割合が最も高いのは「伊豆半島地域」の36.70%、最も低いのは「西部地域」の28.63%となっている。

また、老年人口割合を平成17年国勢調査時と比べると、「伊豆半島地域」は13.04ポイント増、「東部地域」は10.74ポイント増、「中部地域」は9.78ポイント増、「西部地域」は8.94ポイント増となっている。

なお、県全体では10.00ポイント増となっている。

図10 地域圏別年齢構成割合の推移



各市町ごとのグラフは統計表に掲載。

4 外国人人口

(1) 総人口

令和3年10月1日現在の本県の外国人人口は、85,455人で前年に比べ601人減少し、減少率は0.7%となっている。

男女別にみると、男41,535人、女43,910人で、性比は94.59となっている。

本県の総人口に占める割合は、2.37%で、前年と同じであった。

表 8 外国人人口の推移

年	外国人推計人口(人)			総数の増減率(%)	総人口に占める割合(%)
	総数	男	女		
29年	68,787	32,600	36,187	9.10	1.87
30年	74,766	36,102	38,664	8.69	2.04
元年	82,785	40,688	42,097	10.73	2.27
2年	86,046	41,902	44,144	3.94	2.37
3年	85,445	41,535	43,910	-0.70	2.37

平成29年～令和元年の人口は、平成27年国勢調査に基づく。

令和2年の人口は、国勢調査の確定値

※外国人人口には国籍不明の者は含まない。

(2) 市町別人口

外国人人口は、浜松市の22,205人が最も多く、外国人人口全体の25.99%を占めている。

前年に比べ外国人人口が増加したのは15市町で、増加数では磐田市の122人が最も多くなっている。

一方、前年に比べ減少した市町は20市町で、減少数では浜松市の163人が最も多くなっている。

また地域圏ごとの総人口に占める外国人の割合は、西部地域で高くなっている。

表 9 市町別外国人人口

順位	外国人人口(人)		市町各総人口に占める割合(%)		増加数(人)		減少数(人)			
1	浜松市	22,205	1	菊川市	7.25	1	磐田市	122	浜松市	163
2	静岡市	9,697	2	吉田町	5.84	3	吉田町	121	掛川市	138
3	磐田市	7,468	3	湖西市	5.68	2	焼津市	77	沼津市	126
4	富士市	4,937	4	袋井市	4.92	4	富士宮市	28	御殿場市	108
5	焼津市	4,432	5	磐田市	4.51	6	下田市	25	牧之原市	94

(注) 内の数字は前年の順位

図 1 1 市町別外国人人口割合（令和3年10月1日現在）

